

アペルト2

榎尾聡美

生命の内側にひそむもの

2015年9月19日(土) →  
2016年1月17日(日)

《あたふる》2014(部分)  
Photo: KASHIO Satomi

若手作家の展覧会シリーズ「アペルト」第2弾。  
染色作家、榎尾聡美による生命力溢れるフォルム。

展覧会名	榎尾聡美 生命の内側にひそむもの		
企画	内呂博之(金沢21世紀美術館 コンサバーター/キュレーター)		
会期	2015年9月19日(土) → 2016年1月17日(日)		
	開場時間 / 10時~18時(金・土曜日は20時まで)		
会場	休場日 / 毎週月曜日(ただし、9月21日、10月12日、11月23日、1月11日は開場)9月24日、10月13日、11月24日、12月28~1月1日、1月12日		
	金沢21世紀美術館 長期インсталレーションルーム	料金	入場無料
主催	金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]		
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2800		

## 展覧会について

本展「榎尾聡美 生命の内側にひそむもの」は、今まさに興りつつある新しい動向に目を向けて、新進気鋭の若手作家を個展形式で紹介するシリーズ「アペルト」の第2回目です。

榎尾聡美は、加賀友禅をはじめとする染色の伝統をふまえながら、刷毛による色挿しやシルクスクリーン等の技法による、繊細で精密な表現をおこなっています。飛行機や電車など日常的なモチーフを取り入れた、幾何学的な装飾を特徴とする作品のイメージは、生命の細胞をも連想させ、布を多層に重ね合わせた立体的なフォルムは、有機的で生命力溢れる姿で現れています。

本展では、榎尾が2014年より展開している展示空間に合わせた天井吊りの作品を紹介します。

内呂博之(金沢21世紀美術館 コンサバーター/キュレーター)

## 「アペルト」シリーズとは

「アペルト」は、若手作家を中心に個展形式で紹介する展覧会のシリーズです。

金沢21世紀美術館は世界の「現在」とともに生きる美術館として、今まさに興りつつある新しい動向に目を向けています。作家とキュレーターが作品発表の機会を共に創出し、未来の創造への橋渡しをします。

国籍や表現方法を問わず、これまで美術館での個展や主要なグループ展への参加経験は少ないが、個展開催に十分な制作意欲を持ち、アペルト実施以後のさらなる飛躍が期待できる作家を紹介していくものです。

※「アペルト(aperto)」は、イタリア語で『開くこと』の意味。

## 作家ステートメント

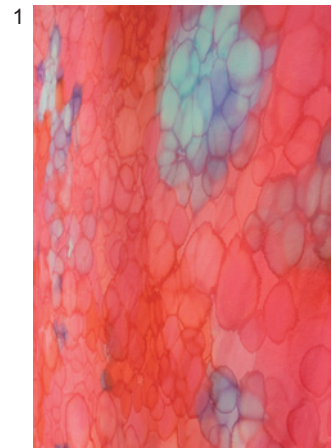
ただ“在る”ことを

義手や義足、身体のごくまでなら置き換えが可能だろうか。情報化する社会の中で、ふと自分の存在を見失いそうな感覚に襲われる。そしていつものように皮膚に触れ自分がここに“在る”らしき事を確認する。

未だ人間にとって欠かせない身体性。今のところ、布は優しく皮膚を揺らし続けている。それはまるで私達が存在している事を教えるかのよう。

私達の生活にとって、もはや欠かすことの出来ない人工物を描くことで現代の生命力を描き出したい。そして描き出したこの装置があなたの感覚を揺らし、あなた/わたしがここに“在る”ことのしつぽをつかめますように。

榎尾聡美(KASHIO Satomi)



《揺れる境界》2015(部分)  
Photo: KASHIO Satomi

## 作家プロフィール

### 榎尾聡美 KASHIO Satomi

1984年 愛知県生まれ  
2008年 金沢美術工芸大学 美術工芸学部 工芸科 卒業  
毎日・DAS学生デザイン賞・テキスタイル部門賞受賞  
2010年 多摩美術大学 大学院 美術研究科 デザイン専攻 テキスタイルデザイン研究領域 修了  
2012年 金沢卯辰山工芸工房 修了  
2014年 岡山県新進美術家育成「氏賞」奨励賞受賞  
現在 岡山県立大学 デザイン学部 造形デザイン学科 助教(2012年～)



## 広報用画像

画像1～5を広報用にご提供致します。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。 Email: [press@kanazawa21.jp](mailto:press@kanazawa21.jp)

<使用条件>

※広報用画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットを必ずご表示ください。

※トリミングをご遠慮ください。キャプション等の文字が画像にかぶらないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正用原稿を広報室へお送りください。

※アーカイブの為、後日掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

以上、ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。



《あたふる》2014(部分)  
Photo: KASHIO Satomi



《揺れる境界》2015(部分)  
Photo: KASHIO Satomi



《あたふる》2014  
Photo: HATAYAMA Masato